

私が参加したのはイエール大学のトピックス・イン・インターナショナル・エコノミックスというコースでした。まずは場所から説明します。イエール大学は Connecticut の New Haven という町にあります。私があそこに来て、一番びっくりしたのは世界的に有名な大学なのに、大学の周りには治安があまり良くないことです。最初の日にはカウンセラーやイエールの大学生に「夜になったら、絶対一人では歩かないこと！」と何回も言われました。ただし、用事があり、外へ出かけなければならない時は、カウンセラーに連絡するか、または、ある番号に電話をすれば、警備員が迎えに来、行き先まで送ってくれます。Shuttle Bus も夜中ずっと走っていますので、不便だとは感じませんでした。

イエール大学にはいくつかの寮があり、私が住んでいたのはピアソンという寮でした。IARUの参加者は皆同じ寮に住んでいました。環境がすごく落ち着いて、建物もきれいな寮でした。地下にはジムやプールテーブル、卓球台、様々な娯楽があります。私は一階に住んで、個室だったのですが、二階から四階までは一つの部屋を二人でシェアします。五週間部屋をシェアし、いい友達になった人はたくさんいます、私もシェアメイトがほしかったのです。

各寮に食堂があり、しかも食事の時間が決まっているため、皆同じ時間に食べなければならなかったのですが、食事の時間に皆が集まるので、友達づくりにはベスト・タイミングでした。他の寮の食堂へ食べに行っても大丈夫なので、積極的な人は他の寮からも友達を作ることができます。食事は毎日三回でサラダからデザートまで全部食べ放題です。

授業はセミナー公式で、週三回で授業をやっていました。(月曜日、水曜日と金曜日の午後1時から3時まで)。二時間は短く思うかもしれませんが、実はその二時間のための準備は大変時間がかかります。先生はいつも授業が終わる度に、次回の授業の予習のためにリーディング・マテリアルを膨大に配布し(だいたい論文を4セットぐらい)とやった授業の復習のために宿題などを出します。

毎回先生が皆の意見を求めるので、予習は必ず皆やっています。クラスでの議論はいつも熱くなり、しかも皆せめて一回は自分の意見を発表しなければならないので、経済の勉強だけではなく、英語の勉強にもなります。毎週一つのトピックスをやって、週末には一週間の勉強に基づいて、何を学んだか、どこが一番おもしろかったかというレビュー・ペーパーを書きます。先生はいつも最新の話もクラスで話をし、授業は面白かったです。

カウンセラーたちも寮生活をより面白くするためにいろいろ工夫をしてくれました。毎日、授業が終わってから、イベントがあります。サッカーや、ダンスパーティー、フリスビー、バレーボール大会などいろいろ行ってくれました。週末にはニューヨークヘブロードウェイを見に行ったり、シックス・フラッグという遊園地へ行ったりもしました。一番人気があったのは金曜日の夜の映画を見に行くイベントです。これは毎週あり、しかもかかる費用はたったの5ドルだけです。イエール大学は一部支給してくれますので、自己

負担はほんの少しだけでした。たとえば、ニューヨークへ **Phantom of the Opera** を見に行った時は、チケットやバス代を全部含めて、私は25ドルしか払いませんでした。

予習や復習の時に一緒に勉強したり、宿題をやる時に助け合ったりするうちに IARU 生は皆自然に仲良くなりますので（週一回は IARU 生だけのプログラムもありました）、カウンセラーが行ってくれるイベントには IARU 生以外の人と友達になれるチャンスがあります。

今年の夏は精いっぱい勉強をしながら、遊びもしました。国際金融や国際貿易についてたくさん学びましたし、新しい友達もたくさんできましたし、いろんな所へ行き、いろんな新しい経験もしましたので、すごく有意義な5週間でした。他のコースに比べより、少し自己負担は高めかもしれませんが、得られるものや経験や知識などもたくさんありますので、このコースをお勧めします。